学校番号	３００７

令和８年度　工業科（ファッション工学科）

教科	工業	科目	カラーリング技術	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	カラーリング技術						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

染色の歴史から実際の商品などを学び、自ら実験し、染色に対して知識を深める。

2　学習の到達目標

染色加工に関する知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を育てる。
（C群選択科目）

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	素材に応じた染色方法を理解している。	様々な製品を比較し、違いを考えることができる。	染色に興味を持ち、積極的に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	染色技術の基礎	染色の歴史 染色加工法	a:染色技術の基礎を理解している b:染色の加工法について考察することができる c:染色技術を習得するため主体的に実習に取り組むことができる	確認テスト 定期考査	学習状況の観察 レポート	提出物 実習

	素材と色素材料	テキスタイル素材 色素材料	a:テキスタイル素材・色素材料について理解できる b:テキスタイル素材に適した色素材料を考察することができる c：テキスタイル素材に応じて色素材料を選択することができる	確認テスト 定期考査	学習状況の観察 レポート	提出物 実習
2学期	染色化学の基礎	炭素化合物の化学 染色の物理化学	a:染色化学の基礎について理解できる。 b:染色化学について考察することができる c:染色化学を考慮しながら主体的に実習に取り組むことができる	確認テスト 定期考査	学習状況の観察 レポート	提出物 実習
	染色加工	浸染 なせん 精練・漂白	a:目的に応じた染色加工方法を理解できる b:染色加工に必要な精練・漂白を考察することができる c: 浸染、なせんの染色加工方法を実習で実践できる	確認テスト 定期考査	学習状況の観察 レポート	提出物 実習
	仕上げ加工	処理加工 特殊仕上げ加工	a:様々な仕上げ加工について理解できる b:目的に応じた処理加工方法を考察することができる c:身の回りの製品で使われている処理加工について他者に説明することができる	確認テスト 定期考査	学習状況の観察 レポート	提出物 実習
3学期	工芸染色	工芸染色の分類 工芸染色技術	a:伝統的な工芸染色について理解できる。 b:日本の各地域の工芸染色の技術を考察することができる。 c:工芸染色の技法を実習を通して体験する	確認テスト 定期考査	学習状況の観察 レポート	提出物 実習

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度